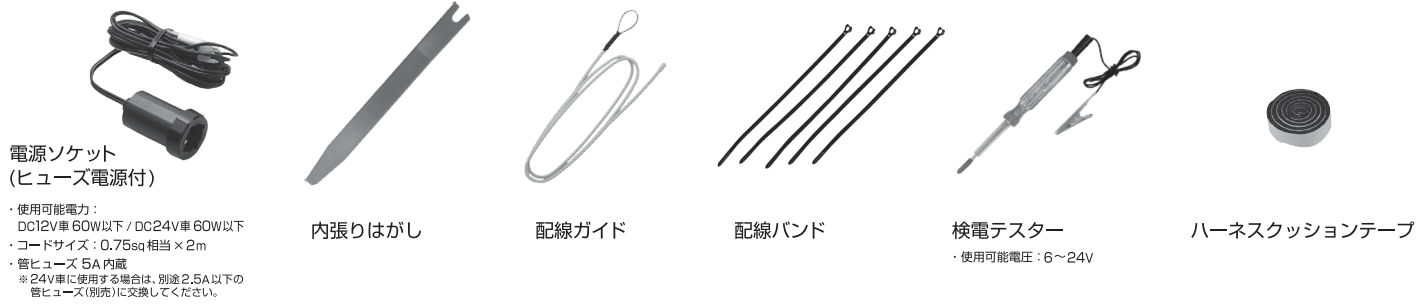
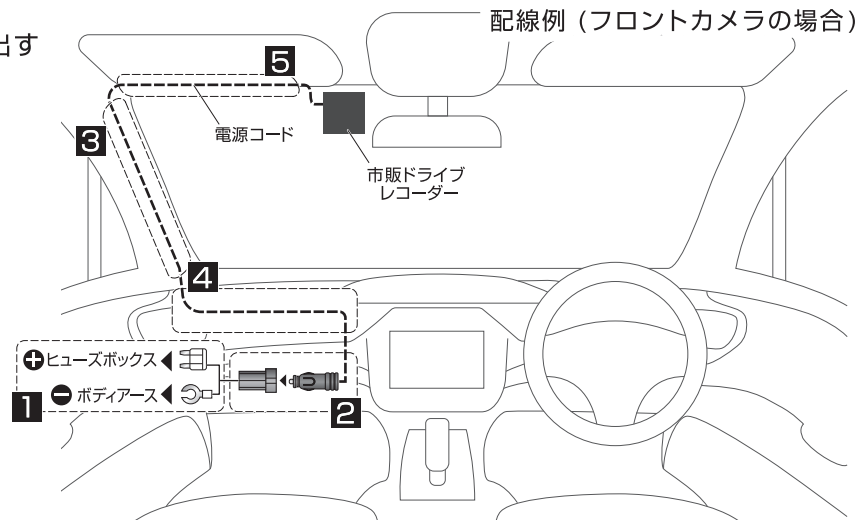


セット内容



使用方法

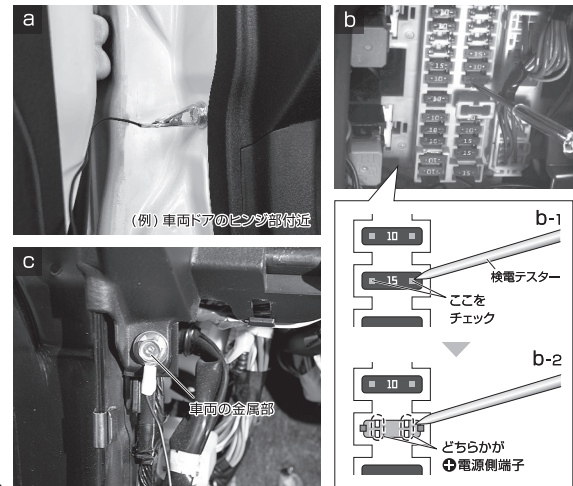
- 1 車両のヒューズボックスから電源を取り出す
- 2 プラグを電源ソケットに差し込む
- 3 内張りを外す
- 4 電源コードを通す
- 5 電源コードを隠す



- ※ドライブレコーダーの取付方法に関しては、取り付けるドライブレコーダーの取扱説明書を確認してください。
- ※内張りの脱着方法は作業前に確認してください。

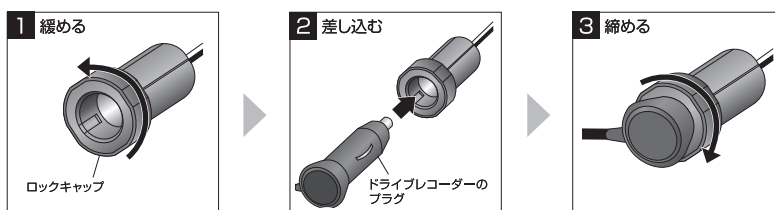
1 車両のヒューズボックスから電源を取り出す

1. 車両のヒューズボックスを探す。
 ※ヒューズボックスの位置は自動車の取扱説明書を確認してください。
2. 検電テスターのクリップで、車両の金属部分(ボルトなど)を挟む。(図a)
 ※ボディ塗装面・黒塗装のボルトは通電しにくくなっています。
3. 検電テスターの先端をヒューズに当て、ACC電源が取れる15Aヒューズを探す。(図b、b-1)
 ※キー操作を繰り返し、[ACC-ON]でテスターが光り[ACC-OFF]では光らないヒューズを探してください。
4. [3.]で探したヒューズをラジオペンチなどで抜き取る。
5. [4.]でヒューズを抜いた箇所の⊕電源側端子を確認する。(図b-2)
 ※[ACC-ON]でテスターが光る箇所が⊕電源側端子です。
 ※車種により、ヒューズを抜いた状態でエンジンをかけるとエラーが発生する場合があります。
6. 安全のためバッテリーのマイナスターミナルを取り外す。
7. 電源ソケットのヒューズを、[4.]でヒューズを抜いた箇所に差し込む。
 ※[5.]で確認した⊕電源端子側にコードがくるように注意して差し込んでください。
8. 電源ソケットのクワ型端子を車両のボルトと共締めしてください。(図c)
 ※ボディ塗装面・黒塗装のボルトは通電しにくくなっています。塗装を取るなどの処理をおこなってください。



2 プラグを電源ソケットに差し込む

1. 取り付けるドライブレコーダーのプラグを電源ソケットの奥まで確実に差し込み、ロックキャップを締める。



※キャップを緩めずにプラグを差し込むと本製品が破損します。

2. バッテリーのマイナスターミナルを接続し、[ACC-ON]の状態ドライブレコーダーが正常に作動するか確認する。

3 内張りを外す

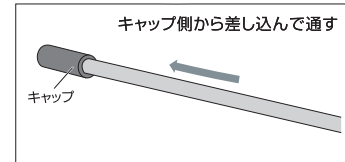
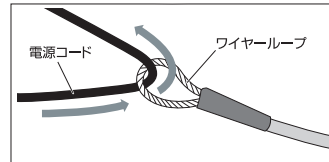
取り外したい内張りを手で少し浮かせながら内張りはがしをすき間に差し込み、ひねって取り外す。

- ※手で取り外せる箇所はできるだけ手で取り外してください。
- ※エアバッグが内蔵されている内張りなどの周囲では充分に注意して作業してください。
- ※エアバッグ部品などを外さないでください。

- ※樹脂パネル・塗装面などが傷つかないように養生テープなどで保護してください。
- ※取り外しが困難な場合があります。無理な力を加えないよう注意してください。
- ※本製品や内張り・パネル・クリップなどが破損するおそれがあります。

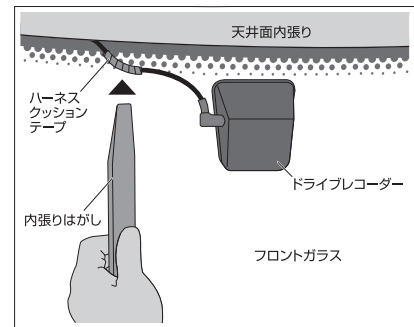
4 電源コードを通す

1. ドライブレコーダーの電源コードを配線ガイドのワイヤーループに通し、コードが抜け落ちないところまで折り返す。
2. ダッシュボード裏など電源コードを隠したい箇所に配線ガイドを通す。
※車種・取り付けのドライブレコーダーによって配線を這わせる箇所は異なります。



5 電源コードを隠す

1. 内張りはがしを使用し、フロントガラスと天井面内張りのすき間に電源コードを押し込む。
※この際、電源コードにハーネスクッションテープを巻きつけておくとコードが脱落しにくくなります。
2. 配線バンドを使用して長さの余った電源コードをまとめ、グローブボックスの奥などに隠す。
※電源コードは車両側の配線束にまとめて留め、車両の可動部分に挟み込まれたり無理な力が加わらないように配線してください。
3. 取り外した内張りを元に戻す。
※内張りを取り外した際にカプラーなどを外していた場合は、戻し忘れにご注意ください。
カプラーを戻さずにエンジンをかけると車両のエラーシステムが作動する場合があります。



使用上の注意

- バッテリーのマイナスターミナルを外すと電装品のメモリーなどが消去される場合があります。
- 使用可能電力・対応プラグサイズ・ヒューズの種類/アンペア数を必ず守ってください。
- 安全のため、保護眼鏡・保護手袋などの保護具を着用して作業してください。
- 工具の先端部は鋭利になっている箇所があるため充分に注意してください。
- エアバッグの作動や運転の妨げになる箇所に取り付けしないでください。
- 接続箇所やプラグに緩み・脱落などがなければ定期的に確認してください。
- 本製品が摩耗・損傷・変形した場合は新しい製品と交換してください。
- 用途以外の使用はしないでください。

※仕様・外観は予告なく変更する場合があります。

※以下の原因によるトラブルや事故について、当社は一切責任を負いません。
・保安基準に違反するような取り付け ・製品の分解や改造 ・取り付け不備や配線ミスなど

【検電テスター】 ● 電光管の交換はできません。

- 10秒以上の連続使用はしないでください。
- 本製品が直接高温部に触れないよう注意してください。
- コードを束ねたまま使用しないでください。
- コードを引っ張らないでください。
- コード自体に本製品の先端を刺して検電した場合、必ず絶縁テープなどでコードを保護し、同じ箇所でも再検電しないでください。

【電源ソケット】 ● 発熱の原因となるためソケット内部やプラグの汚れをよく拭き取ってください。

- コードの⊕⊖を誤って接続すると電装品が故障する場合があります。
- 走行中の安全に関わるヒューズとは差し替えないでください。
- 純正ヒューズを抜くとメモリーが初期化される場合があります。
- 内蔵管ヒューズが切れた場合は管ヒューズ 5A(別売)と交換してください。
- コードに無理な力が加わらないように配線してください。
- 8時間以上の連続使用はしないでください。
- 本製品を60℃以上の高温になる箇所に取り付けしないでください。

【配線ガイド】

- 本体を鋭角に何度も曲げないでください。
- ワイヤーループ部の最大保持力は約20kgです。無理に引き込むとワイヤーループ部の破損やコードを切断するおそれがあります。
- 0.5sq以下の細いコードを使用する場合は、コードの被覆部分をビニールテープなどで補強してから使用してください。
- 配線の引き込みは、コードの太さ・長さを考慮して、無理に引っ張らないでください。
- 直径6mm以下の穴やすき間には使用しないでください。
- 繰り返し使用したり鋭利な箇所に触れると、本体表面の被覆部分が破れ、芯線が露出する場合があります。
- キャップ部を通す際、戻す方向に引っ張るとキャップが外れるおそれがあります。
- 高温多湿を避けて保管してください。

エモン工業株式会社
兵庫県神崎郡福崎町南田原2077-1

お問い合わせ先 **0790-22-6262**
受付時間 8:30~17:30(土・日・祝日を除く)
ホームページ <https://www.amon.co.jp>